

労働安全衛生

当社グループが目指す「変革への挑戦」および持続的な価値創造は、従業員一人ひとりが安全かつ健康に働き、最大限のパフォーマンスを発揮できる環境があって初めて実現します。当社は、「従業員の安全と健康はすべてに優先する」という基本理念のもと、安全管理と健康経営の両輪により、強靱な組織基盤の構築に取り組んでいます。

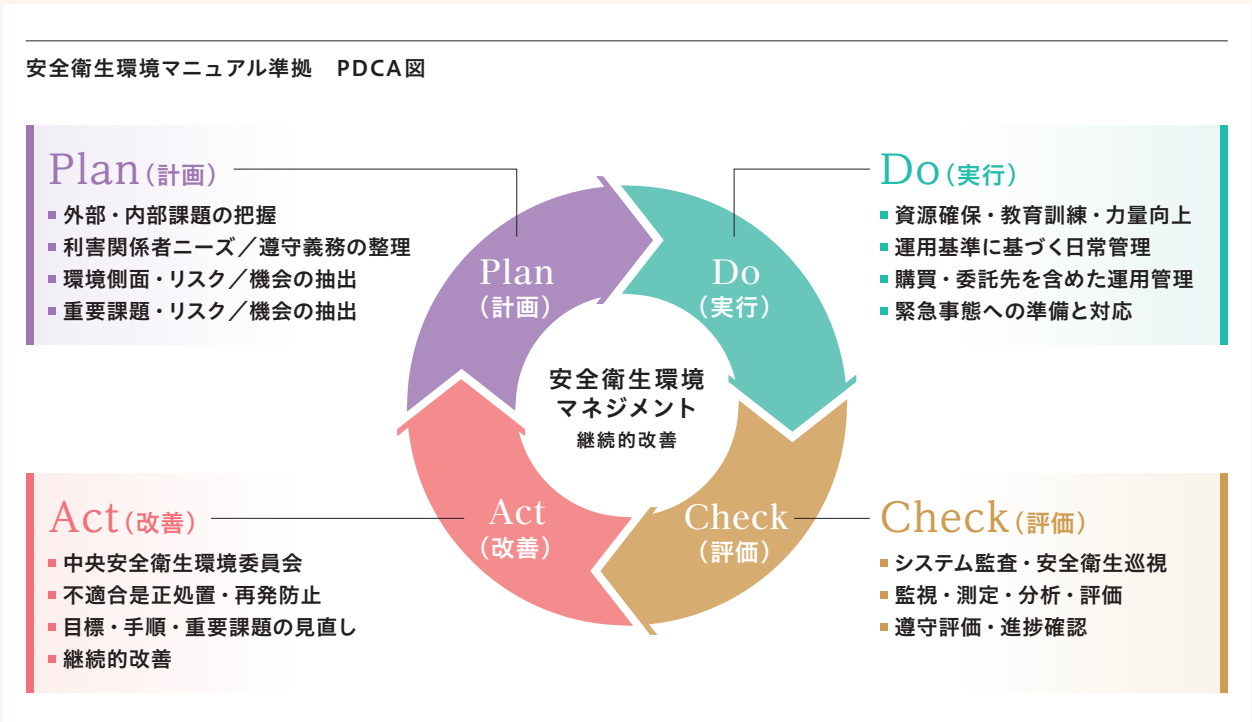
方針

当社は「安全衛生方針」のもと、法令遵守を前提に、「災害ゼロ・健康被害ゼロ」の職場づくりを目指しています。さらに、2024年度には「パーカー安全の4つの誓い(安全の最優先、ルールの遵守、危険行動の排除、危険の見極め)」を新たに定め、全社的な安全文化の定着を推進しています。また、従業員の心身の健康を重要な経営要素と位置づけ、「健康経営」を推進し、一人ひとりが安心して能力を最大限に発揮できる、人的資本の価値向上につなげています。

体制 ～環境・安全一体の独自マネジメント～

当社は、安全衛生マネジメントを環境マネジメントシステム(ISO14001)に包括し、全社で統一した効率的な運用体制を構築しています。具体的には、経営層や労働組合が参加する「中央安全衛生環境委員会(年2回、以下「中安」)」と、現場の「事業場安全衛生環境委員会(毎月)」が連携しています。現場における労災情報やシステム監査結果は適切に集約され、日々の安全衛生管理や個別対応に活用する仕組みを整えています。その上で、全社的な対応が必要な重

要事項等については、中安においてマネジメントレビューとして審議され、策定された全社方針や対策を各事業場へ展開しています。このように、実態に即した着実なPDCAサイクルを回すことで、グループ全体の安全衛生レベルの底上げを図っています。この体制をより強固なものへと進化させるべく、当社の創業100周年に向けて、製造部を対象とした労働安全衛生の国際規格「ISO45001」の取得に向けた活動を開始しました。

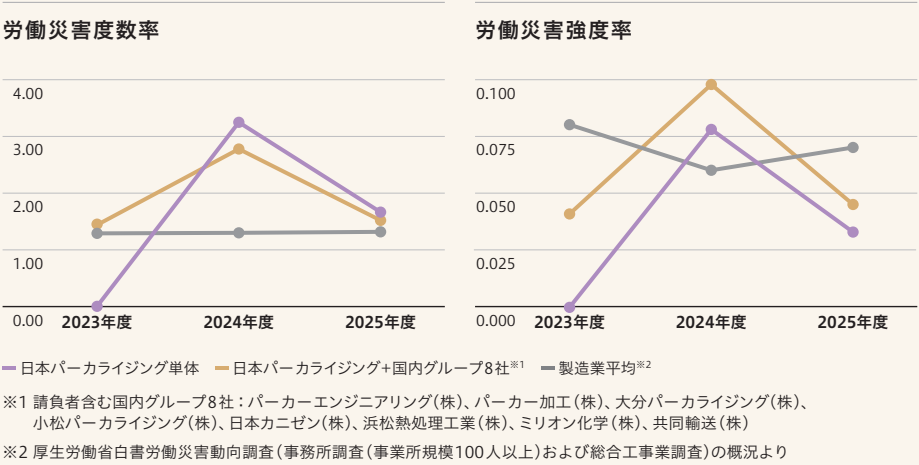


安全衛生方針および環境・安全一体のマネジメント体制、具体的な活動の詳細については、当社ホームページをご確認ください。

指標と実績

当社グループは、「安全衛生方針」および「パーカー安全の4つの誓い」のもと、現場で働くすべての人々の安全と健康の確保を最優先に取り組んでいます。安全活動の重要目標として、「2030年度までに労働災害度数率0.50」を掲げ、災害ゼロの実現を目指しています。2025年度は死亡災害ゼロを30年以上連続で維持するとともに、労働災害強度率も改善するなど一定の成果を上げました。一方で、当社単体の労働災害度数率は製造業平均を上回る結果となっており、さらなる安全対策の強化が必要であると認識しています。

この課題に対応するため、グループ全体の安全標準化を推進し、2026年4月に「パーカーグループ安全基準(PS-S: Parker Standard-Safety)」を制定しました。本基準は、



死亡災害ゼロ

30年以上継続

安全管理

当社は、ハード面(設備・環境)とソフト面(教育・ルール徹底)の双方から、安全で快適な職場環境づくりを推進しています。現場視点での継続的な改善活動(KY活動やヒヤリ・ハットの収集)をはじめ、化学物質リスクアセスメント、各階層に応じた安全衛生教育など、全社を挙げて安全管理レベルの維持・向上に取り組んでいます。

主な取り組み

分類	取り組みテーマ	具体的な施策
現場リスクの低減	リスクアセスメント・KY活動	作業標準の見直し、化学物質リスクアセスメントの実施、ヒヤリ・ハットの収集・分析
安全意識の定着	安全衛生教育・啓発	「全国安全週間」に合わせた社内安全衛生大会・表彰の実施、業務に応じた安全教育